

今年4月に伊那市から故郷塩尻へ引越してきました。以前に比べ社会インフラは箱物や道路中心に整ってきた反面、多くの地方都市同様、中心市街地の空洞化と高齢化の進展がみられ、特に買物や通院等に困っている高齢者や生活弱者の増加が懸念されます。

高齢化対応のモデル都市へ



大門並木町 久明さん
なかざわ ひさあき
中澤 久明さん

若年層の方もいずれは高齢者。決して他人事ではないのです。5年先、10年先を見据え、高齢者を含めた幅広い市民の声をぜひ施策に反映させて欲しいのです。個人の力は非力でも皆が智恵を出し合い協力することで、生活弱者が軽い負担で安心して暮らせる街になれたらいいと思います。

市民の声

先日、銭湯に行く機会があった。それも番台に人が座っている昔ながらの銭湯に。そんな昭和の匂いがする銭湯をいつまでも残しておいて欲しいと、強く思った。なぜなら、そこには人の輪があり、和やかな空間を感じたからだ。



広丘吉田 緑さん
よこばやし みどり
横林 緑さん

さらに銭湯は利用しやすい。ドアを開けて番台に料金を払えば、すぐの辺りに脱衣所があることが嬉しい。スーパリー銭湯だとそうはいかないし、それにプライバシーが重視されすぎていて、コミュニケーションも図りにくい。だから銭湯は大事な場所だと思った。また銭湯に限らず商店、食堂、宿泊施設など、昔から語られる場としてある小さな空間が、ホッとできる場所にもなっていることにも気付く。塩尻の街が、そういった小さな人の輪を大切にし、人と人が助け合い支えあえる街であることを願いたい。

市議会レポート

塩尻市・糸魚川市議会親善交流会

平成27年8月6日、7日、猛暑の2日間、姉妹都市新潟県糸魚川市議会との親善交流会が、糸魚川市で開催されました。

市内視察では、今年の3月にリニューアルオープンしたフォッサマグナミュージアムや北陸新幹線糸魚川駅高架下に建設された糸魚川ジオステーション「ジオパル」を訪れました。フォッサマグナミュージアムには、糸魚川を代表する鉱物「ヒスイ」や日本列島が誕生した際の大地の裂け目「フォッサマグナ」の解説などの展示があり、自然環境と資源の恵みや地震などの自然災害などについて学ば事が

できました。

また「ジオパル」については、「糸魚川世界ジオパーク」の魅力を発信する役割を担う施設となっている一方で、鉄道実車両、模型、プラレールに親しみ楽しむことのできる交流施設となっており、全国から多くの鉄道ファンが訪れていました。

その他、新潟県立海洋高等学校を視察するなど、大変有意義な親善交流会となりました。



リニューアルされたフォッサマグナミュージアム

12月定例会の予定

11月30日	開会日
12月8日	代表・一般質問
9日	
10日	
11日	委員会審査
14日	
15日	
16日	
21日	閉会日

会議の日程は変更になる場合があります。

本会議を生中継しています!

テレビ松本ケーブルテレビの「塩尻市行政チャンネル(J706)」で市議会本会議の生中継を行っています。本会議開催の一週間後に録画放送も行っていきます。また、市議会ホームページでもインターネットによる生中継・録画放映を行っています。ぜひご覧ください。

議会あれこれ

◆今議会でもいろいろ議論が交わされた。言葉を活用してのある種の戦いでもあるが、何を言っても良いわけではない。使った言葉や発言内容には責任が伴う。ましてや一貫性のない発言はもつてのほかに真摯で、より良い議論に努めたいものだ。

◆参院安保法制特別委終盤、中央公聴会でのシルズ氏の奥田愛基氏の発言は衝撃的だった。「与野党の皆さん、どうか若者に希望を与えるような政治家でいてください」彼は大学四年。市議会でも、若者と夢が語り合える議員たり得るか、重要な課題である。

◆質問翌日の新聞記事は気になるもの。第三者の評価としても参考になる。記事の大小顔写真が載るかどうかが、質問の意図が伝わったかどうか。記者の表現により左右されることも。多くの市民の目に触れる情報媒体であるだけに、敏感になるものである。

議会基本条例推進委員会 広報部会

- ◎山口 恵子 ○篠原 敏宏
- 小澤 彰一 平間 正治
- 横沢 英一 丸山 寿子
- ◎ 部長 ○ 副部長